

Cs・Sr吸着繊維による海水浄化について

平成27年1月22日

東京電力株式会社



東京電力

セシウム・ストロンチウム吸着繊維による海水浄化について

■目的

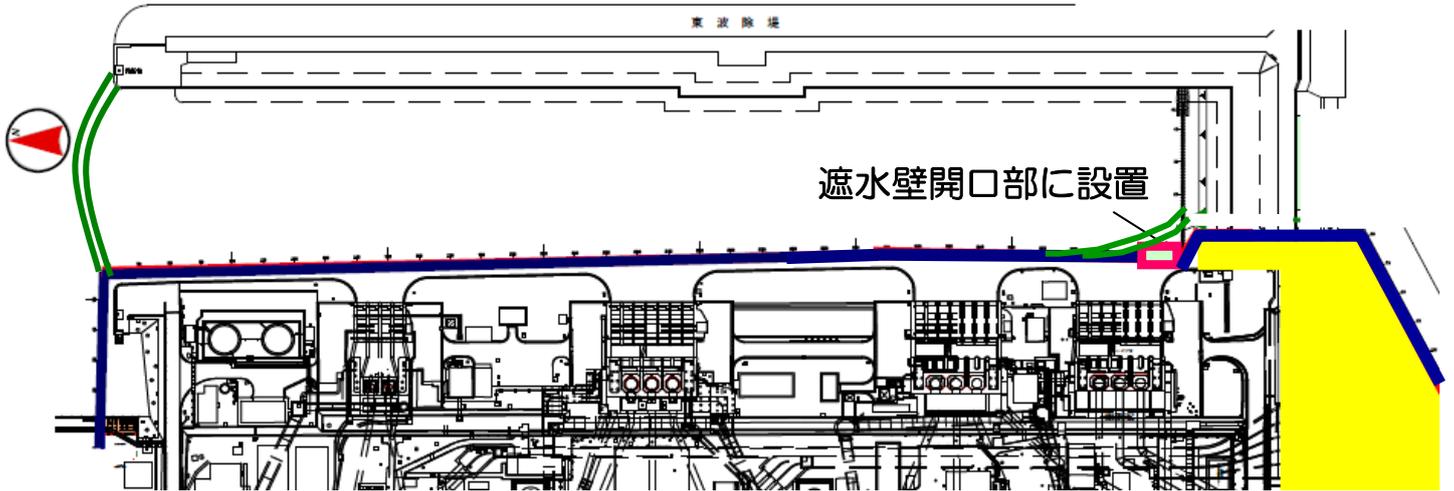
- 1～4号機取水口付近は、現在もセシウム、ストロンチウム濃度が高いレベル。
- 昨年度、3号機取水口前に繊維状セシウム吸着材を設置して浄化試験を実施したが、現在はストロンチウムの濃度がセシウムより高い状況。
- 今年度は、セシウム吸着材に加えてストロンチウム吸着材を併せて、海水中放射能濃度の高い4号機取水口付近に設置し、性能を評価。
- 評価結果に応じて、設置範囲の拡大等を検討。

■期待される効果

- セシウムに加え、ストロンチウムの除去能力について評価し、取水路のセシウム、ストロンチウムの濃度低減につなげる。
- 海水中の安定化ストロンチウムと放射性ストロンチウムの吸着割合を評価

設置場所について(1/2)

- ・海水中放射能濃度が高く、潮汐による海水の流動が大きい、遮水壁開口部（4号機取水路前）付近に設置
(分析・性能評価用のサンプルも併せて設置)



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

2

設置場所について(2/2)



ストロンチウム吸着繊維と重ね合わせて固定化



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

3

海水浄化の実施スケジュール

■実施概要

H26年11月20日

- ・ストロンチウム吸着繊維（簡易型、1 m×1 m）を4号機取水路前の遮水壁開口部近傍に設置
（ストロンチウム吸着繊維は実海水中への投入実績がないため先行して実施）

H26年12月～H27年1月

- ・セシウム・ストロンチウム吸着繊維を取り付けたカーテン状ネット（20 m×5 m）を遮水壁開口部に設置（H26年12月: 準備、H27年1月15日: 浸漬）
- ・分析用として、セシウム・ストロンチウム吸着繊維単体（5m）も設置

H27年1月～7月

- ・2週間～1ヶ月に1回引き揚げ、分析・性能評価を実施
- ・繊維への核種吸着量の測定等の性能評価を実施（約6ヶ月）